

決算説明会 2021年2月期 通期（第39期）

ソーバル株式会社

東京証券取引所 JASDAQスタンダード
証券番号：2186

2021年4月14日

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

推津 敦

総スライド数：13ページ

目次

はじめに	ソーバルグループ概要
前期の総括	1-1 業績ハイライト 1-2 財政状態・キャッシュフロー 1-3 売上構成比 セグメント／主要顧客 1-4 売上構成比 セグメント／契約種別 1-5 総括
今期の展望	2-1 今期の見通しと業績予想 2-2 配当予想・株主優待 2-3 トピックス 営業の強化 2-4 トピックス 継続的な人材の育成

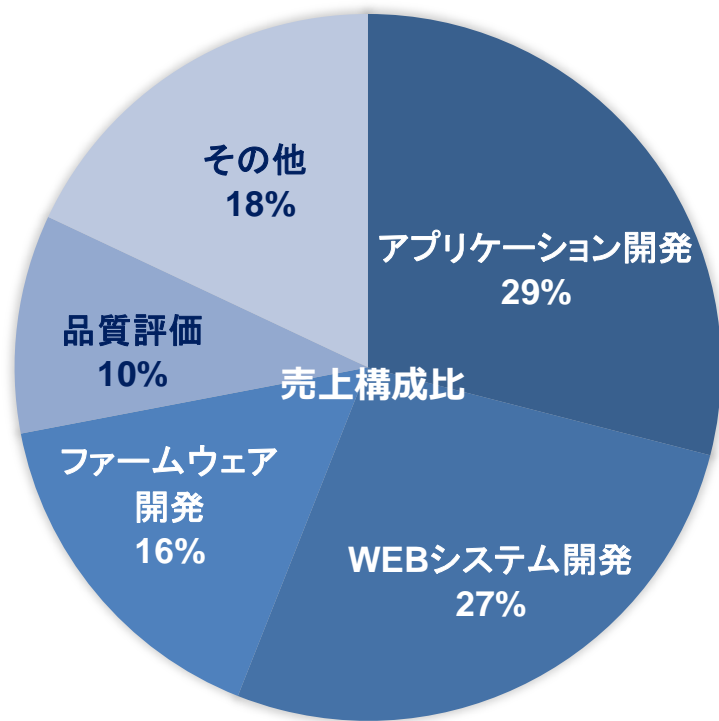
はじめに

ソーバルグループ概要

設立	1983年1月
資本金	2億1,426万円
売上高	75億3,183万円 (*グループ全体)

本社所在地	東京都品川区
従業員数	963名 (*)
平均年齢	37.2歳

事業内容 (*)



主な開発実績

- デジタルカメラ・ビデオ
- 家庭用ゲーム機
- 各種プリンタ、複合機
- 企業向け業務系アプリ
- スマホアプリ
- 医療統計解析
- AIデータ分析など

子会社

- アンダーシステムアンドサポート株式会社
1969年11月設立 資本金9,900万円
- 株式会社コアード
1987年2月設立 資本金2,000万円

業績ハイライト

(百万円)	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期		業績予想	達成率
	実績	実績	実績	前年比		
売上高	8,190	8,344	7,531	△ 9.7%	7,700	97.8%
営業利益	621	633	251	△60.3%	200	125.9%
経常利益	631	645	557	△13.7%	400	139.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	417	436	378	△13.2%	240	157.7%

Point

- 2020年7月8日に業績予想を修正
- 新型コロナウイルスの影響による一部の主要顧客の方針転換の影響が大
- 雇用調整助成金の受給で、経常利益は押し上げられている
- 修正業績予想より、利益面で改善して着地

財政状態・キャッシュフロー

(百万円)	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
総資産	4,148	4,327	4,283
純資産	3,226	3,088	3,231
自己資本比率	77.8%	71.4%	75.2%
1株当たり純資産	395円05銭	392円59銭	409円71銭
営業活動によるCF	343	909	369
投資活動によるCF	△6	△21	△13
財務活動によるCF	△207	△573	△242
現金及び現金同等物の 期末残高	1,863	2,178	2,292(+114)

Point

- 自己資本比率は依然高い水準を維持
- 財務活動によるCFの減少額は、配当金の支払いによるもの
- 期末残高は営業+369 投資-13 財務-242 合計+114百万円の増加
- 改善傾向にある営業活動によるCF増加を軸とし、財務基盤を維持する

売上構成比

| セグメント/主要顧客

	2019年2月期	2020年2月期	2021年2月期
ソニーグループ	16.6%	20.0%	28.5%
キャノングループ	39.0%	31.6%	13.4%
富士通グループ	8.4%	10.7%	12.4%
リクルートグループ	2.9%	2.6%	4.4%
日立グループ	2.9%	3.0%	4.1%
トヨタグループ	0.6%	1.7%	3.5%
NTTグループ	2.8%	2.3%	2.9%
その他	26.8%	28.1%	30.8%

Point

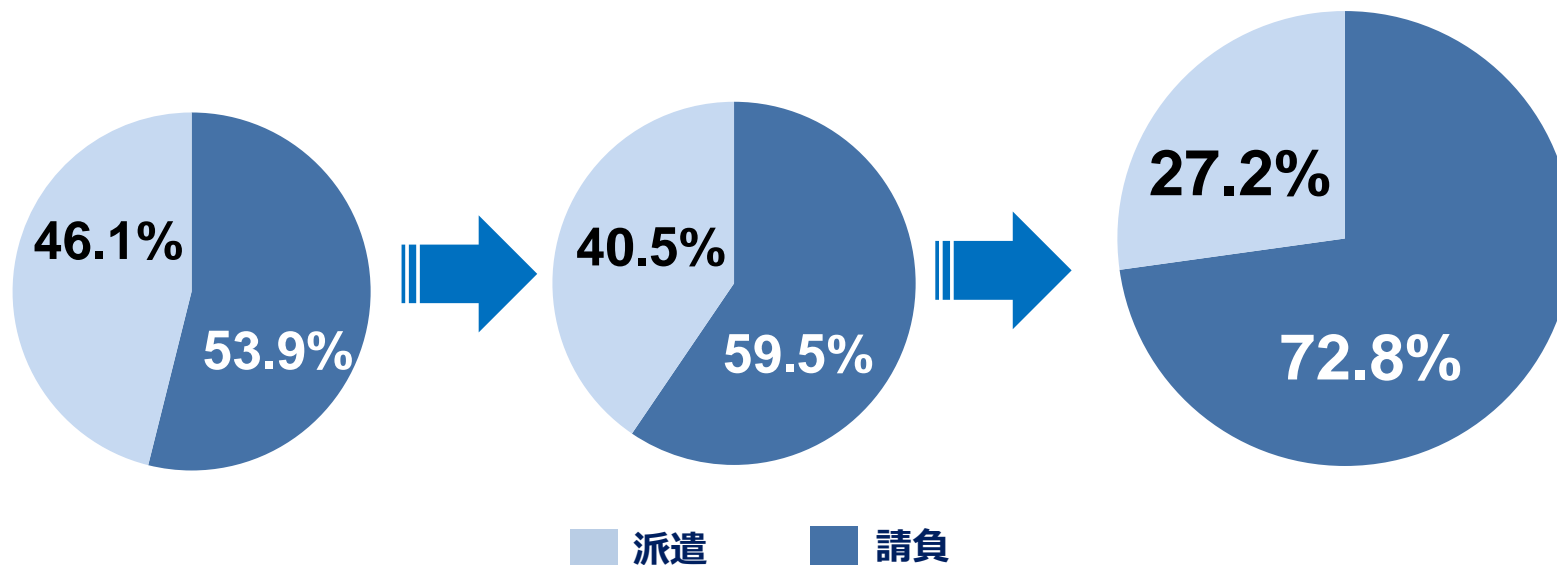
- キャノングループ：比率・売上高ともに大幅に減少
- ソニーグループ：比率・売上高ともに増加
- リクルート、トヨタグループ：比率・売上高ともに増加
- その他：新規、既存取引先ともに増加。高採算が見込める顧客・技術分野の開拓を継続し、既存取引先とは一層強い信頼関係を築く

売上構成比 | セグメント/契約種別

2019年2月期

2020年2月期

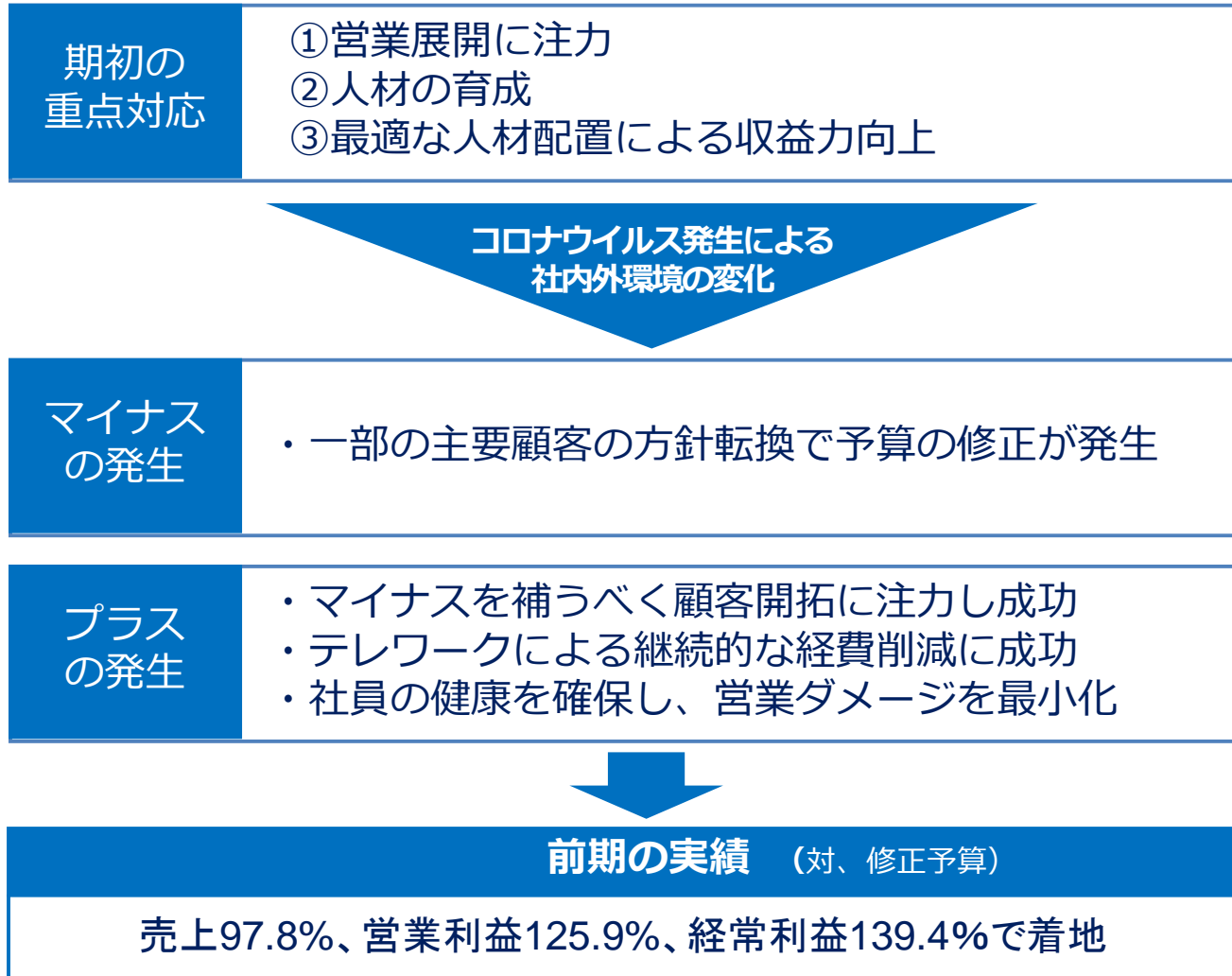
2021年2月期



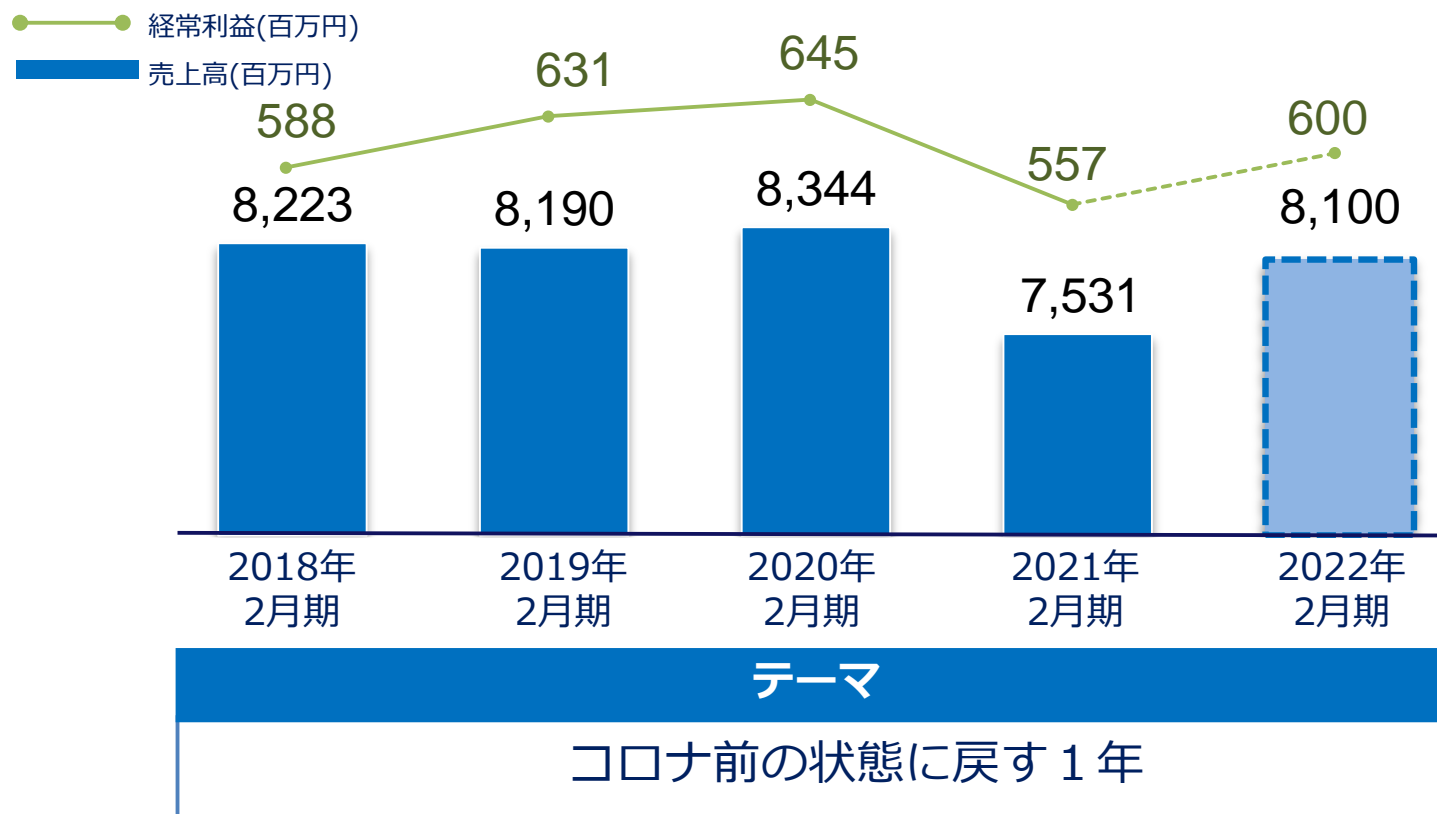
Point

- 請負比率は72.8%へ増加したが、派遣の業務が減少した影響が大きい
- 新規顧客開拓時には、派遣契約から入ることもあり、揺り戻しの可能性もある
- 引き続き請負の業務受注に努め、70%~80%の比率を目指す

総括



今期の見通しと業績予想

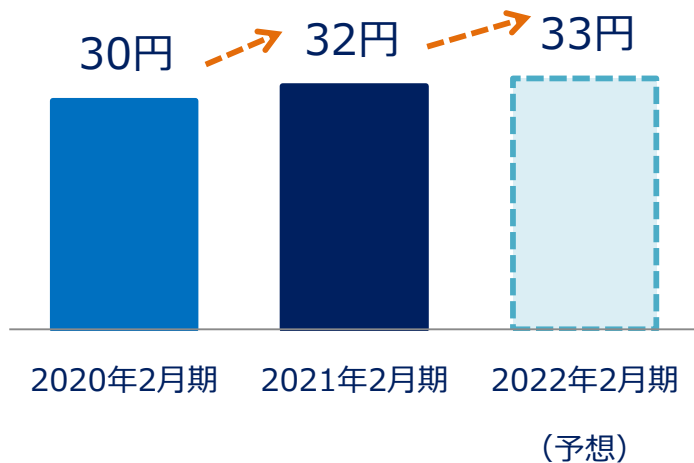


Point

- 既存顧客への規模拡大とさらなる新規顧客の開拓
- 昨年獲得した新規顧客の信頼獲得
- AI人材の育成とダブルスキル化とPM・PLの継続的な育成

配当予想・株主優待

	一株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2022年2月期（予想）	16円00銭	17円00銭	33円00銭	69.1%
2021年2月期	16円00銭	16円00銭	32円00銭	66.5%
2020年2月期	15円00銭	15円00銭	30円00銭	54.6%



Point

- 2022年1月の創業40周年を迎えるにあたり、期末配当で記念配当（1円）を実施いたします

株主優待制度

対象	優待内容
1単元以上 10単元未満	500円相当QUOカード
10単元以上	2,000円相当QUOカード

1 営業の強化

目的

継続的な業務拡大を目指す

【状況】

- 前期第2四半期から期末にかけて派遣契約が大幅に減少

【今後の展望】

- 前期より実施してきた既存顧客の拡大と新規顧客の開拓を継続
- 前期に獲得した新規顧客との関係構築
 - 発注いただいた仕事をしっかりとやり遂げる
 - 必要なニーズを引き出し、それに応える
 - 抱えている課題や悩みについて相談を受ける関係になる

2 継続的な人材の育成（AIとPM/PL）

目的

継続的に必要とされる人材の育成

【状況】

- AIを利用することが、当たり前となりつつある
- PM・PLを育てることが大きな受注に繋がる

【今後の対応】

- AIの知識を持つエンジニアを引き続き増やしていく
- AI+組込み、AI+Webといった、組み合わせのスキルの獲得
- PM・PLの質の向上、人数の増加を同時並行で推進

技術で社会に貢献する。

ソーバル株式会社